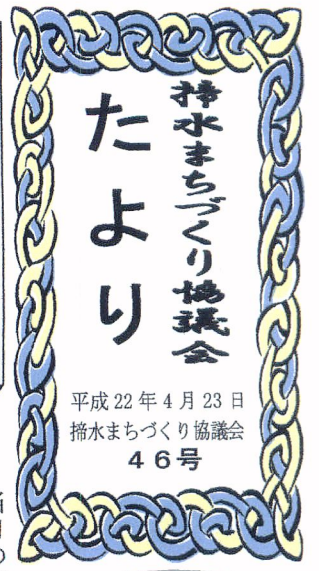


会 長	久 瀬 幸			
副 会 長	山本 芳敬	自 治 会	山添町	松村 三夫
	今井 順子		安楽町	大滝 勇
	小川 義治		山下町	横井 貞司
	福田 昭		伊賀町	葉山 和則
会 計	中西 義彦	会 計 監 査	みどり苑	望月三佐男
書 記	控井 昇		豊原町	久瀬 幸
広 報	中西 義彦		榑田町	小西 信久
運 営 委 員 長	森坂 享司		清水町	安達 正昭
副運営委員長	高田 勇孝	菅生町	太田 洋一	
	中川 浩一		豊原町	加藤 正之
顧 問	原田 俊夫	山添町	森田紀久雄	

**第5回協議会総会が  
開催されました!**

日時 四月十一日(日)  
午後一時三十分

場所 J A 松阪本店三階



平成22年4月23日  
掃水まちづくり協議会  
46号

本号は2枚の構成になっています。

**本年度の本部役員が上の表のように発表されました。**

今回は2年任期の改選期に当たります。今回の改選では、それまでの自治会長任期は1年のところが多く、協議会役員の本来2年任期をより徹底させるため3月の臨時総会で会則変更を行い、各自治会に代表の選出をお願いしました。

司会は当協議会事務局の権藤まゆみさん、爽やかな雰囲気が始まりました。また、森本、田村両国会議員のご臨席をいただき、最初から例年にない盛り上がりになったものになりました。

当日の天候は心配をされましたが、打って変わり朝から大変穏やかな総会日和になりました。今回の総会後半では、河村たかし名古屋市長の講演会が予定されており、開始早々、三百人を越えるほどの盛況ぶりでした。

担当事業	主な事業	事業内容
1 地域振興部	たよりの発行	年間発行回数15回 全世帯に配布 地域の人たちに協議会活動等について広報し、協議会の理解に大きく貢献している。
	ホームページの立ち上げ	3月に立ち上げたがもう少し改善して公表したい。
	夏まつり	今年も例年通り、宇佐美委員長を中心とする実行委員の皆さんに計画してもらいました。環境問題プロジェクトのゴミ回収の協力。各自治会で万全の準備もしていただきましたが、当日も翌日も雨で中止になった。
	キッズふれあい	実施日(7月27日・30日) 参加者 37名 楽しくクッキング 実施日(8月20日) 参加者 42名 「勾玉づくり」
2 公民館活動部	スポーツ大会	実施日(6月21日・28日) グランドゴルフ大会 両日とも雨で中止となった。 実施日(9月13日) 親子球技大会 参加者 100名 地区別対抗でソフトバレー 親子で楽しくスポーツ大会を開いた。
	ふれあいウォーキング	実施日(12月13日) 参加人数(約150名) 安楽天神・運動公園の開発状況・上川公園を折返し、日頃歩いたことのない田園風景の中を楽しんだ。 今年、山添町婦人部の皆さんに振る舞い作りの協力を得た。
	たこあげ大会	運動公園が工事で使用できなかったため、有志の方でたこを作り、西黒部の大会に参加した。
	芸能・文化事業の実施	芸能発表会(6月7日) 文化祭作品展(11月7日~8日) 日頃の勉強・練習の成果を発表でき好評であった。
3 老人会活動部	子どもとのふれあい	保育園・幼稚園・小学生と昔の遊び体験等子どもとの交流をはかった。
	社会奉仕の日	支部ごとに公共施設、神社、仏閣の清掃作業を行った。
	スポーツ大会	体力の向上や親睦をはかり、他地区との親善交流試合にも参加した。
4 保健福祉部	さつまいもの苗植えと収穫祭	実施日(5月31日と10月17日) 参加人数(170名) 多くの子どもたちも参加して収穫を楽しんだ。
	防災訓練	実施日(10月4日) 参加人数(約240名) 豊原町22町内の緊急時被害状況聞き取り調査を先行実施。 各自治会の自主防災隊を中心に消火訓練、バケツリレー等7項目の訓練を実施した。今回も普通救命講習会を実施し、33名が修了証を受けた。
5 安全防災部	地域の防犯パトロール	毎月10回~12回 隊員人数(60名) 今年、パトロール車を新しく、ネーム入りのジャンパーを新調、女性隊員も5人入隊し組織は充実した。地域の安全安心に大きく貢献し、住民に支持され事業として根付いた。
	あいさつ運動	今後とも一層の工夫をして地道に取り組んでいく必要がある。
6 青少年育成環境部	花いっぱい運動	実施日(12月4日) 幼稚園児23名と共にプランターにパンジーの苗を植え自治会等に配った。
	柳田川クリーン作戦	実施日(11月15日) 参加人数(337名) 場 所(柳田橋下流堤防) 柳田川のゴミ回収ができ、環境対策に貢献した。 地元事業所から20名ほどの参加、他の部会の協力により、盛大な取り組みになり好評であった。
7 産業振興部	高齢者・環境問題への取組	高齢者問題では、「福祉・防災カルテ」と「対象者のマップ」を作成したが更新作業、対象者に対する見守り者を決めていく作業ができなかった。 環境問題では、「できるところから運動」のシールを作成し地域の全家庭に配布。玄関等の外から見える所に貼って住民のアンケートをとり、行政や学校への回答を求め幅広く取り組んだ。住民の環境問題への意識の向上を図った。年末には、新聞・雑誌等の特別回収日を設定し、アンケートの要望に応えた。

そのことにより自治会の代表は2年任期の方が選出されました。

また、今回、本部役員の中から、書記の高田正和さん、広報担当の三宅忠行さんが勇退されました。

た。お二人には協議会を始めた大変な4年間をお願ひしました。本当にありがとうございました。



平成21年度 掃水まちづくり協議会決算報告書

収入の部				支出の部			
項目	予算額	決算額	差引額	項目	予算額	決算額	差引額
前年度繰越金	627,744	627,744	0	地域振興部	740,000	597,894	-142,106
松阪市交付金	857,000	857,000	0	公民館活動部	180,000	132,699	-47,301
自治連合補助費	650,000	650,000	0	老人会活動部	30,000	28,632	-1,368
預金利息		262	262	保健福祉部	30,000	26,926	-3,074
委託金		271,000	271,000	安全防災部	170,000	168,952	-1,048
その他収入		3,700	3,700	青少年育成環境部	60,000	14,788	-45,212
				産業振興部	80,000	78,580	-1,420
				事務費	730,000	713,716	-16,284
				予備費	114,744	79,275	-35,469
				次年度繰越		568,244	568,244
合計	2,134,744	2,409,706	274,962	合計	2,134,744	2,409,706	274,962

さて、今回のたよりで総会の様子のすべてを報告することは紙面に限りがありますので総会の主要な部分のみのお伝えとなり、事業報告や決算報告等につ

いては表を載せさせていただきます。字が小さくなりますがご了承ください。久瀬会長のあいさつの要旨をお伝えします。

今回でまち

づくり協議会の総会は5回目を迎え、この間、この地域の自治活動はいろいろな点で大きく変わりました。「皆が元気で仲良く楽しいまちづくり」というテーマに沿っての行事に向けて、多くの方が何度も集まり協議し、各自治会の多くの方が参加・協力をしました。行事では多くの方が集い、多くの方が楽しみました。そのことによつて地域に連帯ができ、人々の絆が生まれ、平成24年度の松阪地区住民協議会

一斉稼働に向け、確かな基礎作りができました。今後は「地域のことは地域で決める」という世の中の動きに合わせ、より機能する協議会にしたいと訴えました。

**本年度の重点項目**は次の三つです。

一つめは、より機能する協議会にしたい。

二つめは、ニコちゃん缶バッチを使って、小学生を中心にあいさつ運動を地域に広めたい。

三つめは、小学校に協議会への加入をしていただきましたので、より一層連携を進めたい。

**議事の審議について**

議長には豊原町の田上顕生さん、みどり苑の天野加津美さんをお願いしました。

**第1号議案 平成21年度事業報告(図表2)と決算報告(図表3)の後、監査報告について**

今井副会長より全般の事業報告、控井環境問題プロジェクト代表より「できるところから運動」について、中西副会長より決算報告、引き続き加藤正之さんより監査報告がありました。

事業報告と決算報告については、質疑はなく、賛成多数で承認されました。この後、前年度末の3月11日の臨時総会での会長・会計監査の選任と、本部役員、副会長や副運営委員長などの増

員と、各自治会からの選出を自治会長から自治会代表とし、その任期を2年とした会則変更の報告がありました。

**第2号議案 協議会本部役員の変更について**

久瀬会長から本部役員(図表1)の発表があり全員の承認がありました。

**第3号議案 平成22年度協議会事業計画案(図表4)と予算案(図表5)について**

事業計画では、新しく発足した女性部の上田真登(豊原町)部長より女性部の本年度の取り組みについて説明がありました。中でもあいさつ運動について、自ら自分はいいさつのできるところで考えた児童がニコちゃん缶バッチを使って推進の輪を拡げていくという取り組みの説明がありました。またあいさつ運動は、「おい(ど)か」の「おおきな声」、「いつでも」「どこでも」「かおを見て」することが大切と分かり易く図示をして説明を行いました。

**事業計画についての質疑**

**望月三佐男さん(みどり苑)**

より「高齢者問題」について

○ 昨年度は高齢者問題プロジェクトで高齢者への取り組みを行った。本年度はどのようなつなげていくのか。

A 高齢者問題については、本年度は「健康福祉部」で取り組もうとしている。まだ部長が決まっていないので細かいところまでは申し上げられないが、この地域でも65歳以上が4人に1人という時代が現実になって来た。私(会長)も加わって確実な取り組みが行われるよう見守って行きたい。これから各自治会へお願いすることが出てくると思われる。そのときはよろしくお願います。

**宇佐見治代さん(豊原町)より河村市長を迎えるについて**

○ 今回、河村市長を迎え講演会を行うが、夕刊三重でも大きな市の市長より近くの松阪市長の話聞いた方がよいの





平成22年度 掃水まちづくり協議会事業計画 重点的な取り組み

- 1、市の全地域、住民協議会の本格的始動に向け、機能する協議会づくりを推進する。
- 2、ニコちゃん缶バッジを利用し、児童を中心としたあいさつ運動を推進する。
- 3、小学校の協議会加入により、真に連携した取り組みを推進する。

	担当部局	実施時期	主な事業
1	総務部	(通年)	・まちづくり協議会活動の広報と管理 (月1回、たよりの発行) (ホームページの更新管理)
2	地域振興部	7月31日(土)	・掃水夏まつり
3	体育部	(通年)	・スポーツ大会の実施 (市民体育祭) (各種スポーツ大会) ・郷土の歴史文化とのふれあい (ふれあいウォーキング)
4	健康福祉部	(春・秋実施) (通年)	・親子のふれあい活動の実施 (いもの苗植えと収穫祭) ・高齢者問題 (福祉カルテの管理と実践)
5	安全防災部	(秋実施) (通年)	・掃水地区合同防災訓練の実施 (緊急時被害状況聞き取り調査の推進) ・地域の防犯パトロールの実施
6	教育文化部	(通年) (秋実施) (春・秋実施)	・あいさつ運動の実施 ・教育講演会の実施 ・芸能・文化事業の実施
7	環境美化部	(通年) (秋実施)	・環境問題への取組 (各地区でのゴミ問題へ取り組み) (榊田川クリーン作戦) ・地域の環境美化運動の実施 (花いっぱい運動)
8	女性部	(通年)	・教育文化部と協力し、挨拶運動を展開し、地域にあいさつを根付かせたい。 ニコちゃん缶バッジを利用し、小学生や運動クラブの児童を中心に運動を展開、地域の人々の協力を願いたい。 ・本年度は他の部会と協力・活動し、次年度の事業を模索する。

ではないかと書かれていた。そのことについてどのようなお考えですか。

A 名古屋市長も私たちと同じような考え方で地域委員会を立ち上げ、地域のことは地域で決めるという立場を取っている。

同じ立場でもいろいろと考え方があると思う。自分の考えをよりしつかりともつにはいろいろと聞いた方が勉強になる。河村市長の元気のあつた話を聞くのはそれなりに値打ちがあると思っている。

松阪市長の話聞く機会は、今年度は、七月と十月の2回、榊田市民センターで計画されています。関心のある方はどうぞ参加をしてください。

※図表4

質疑が終了し、一号、二号、三号と案はすべて採択されました。この後、2名の表彰式が行われました。

※図表5

平成22年度 掃水まちづくり協議会予算

収入の部			支出の部		
項目	予算額	備考	項目	予算額	備考
前年度繰越金	568,244		事業費	370,000	総務部
松阪市交付金	857,000	榊田地区自治連合会		400,000	地域振興部
				120,000	体育部
50,000	健康福祉部				
200,000	安全防災部				
170,000	教育文化部				
130,000	環境美化部				
0	女性部				
自治連合会補助金	750,000		事務費	650,000	手当・旅費・事務機器・保険・見舞・弔慰・消耗品
			予備費	85,244	
合計	2,175,244		合計	2,175,244	

被表彰者とその表彰内容について

1、松阪市消防団松阪方面団 榊田分団様

現在榊田分団は、団員16名、消防支援隊9名の25名によって構成され、毎月の消火栓の点検、地域のパトロールの実



施、それに地域の火災、洪水などの防災、災害時の救助・待機など多方面にわたり地域の安全安心に長年活躍をしていただいています。協議会として感謝をし、表彰をさせていただきますました。代表として中川浩一団長に受け取っていただきました。

## 2、太田音次郎様

民生児童委員として9年の長きにわたり活躍をしていただきましたので表彰をさせていただきますました。



総会後の河村名古屋市長の講演会について

市長は、当日の朝も名古屋市での市民公聴会をこなすなど激務の間を縫って、自動車であられ、ほぼ定刻の午後3時より



講演会に入りました。演題は「これからの地方分権と地域住民に求められるもの」です。これからの社会は何もかも行政任せでなく、地域住民で、地域にあった取り組みをしていくことが大切です。河村市長の言う地域委員会は選挙で選ばれた委員により、市民の寄付金によって運営されるといふことです。既成の自治会の上に成立した私たちの「まちづくり協議会」とは、少し趣が異なります。市民税減税で減った市民の負担を地域委員会の寄付金に回すというやり方がこの地に生きるかどうか少し疑問が残りました。

市長は名古屋弁で終始、明るいキャラクターで住民に話し掛け笑いを誘いました。そして今

の市の議員報酬や国債などの話までに及び住民の質問にも気さくに答えていただき、午後4時20分頃に大成のうちに終えることができました。皆様のご協力ありがとうございました。

## 「生活習慣を大切に」

掃水小学校長 福田 昭



おはよう!

本年度からまちづくり協議会に小学校も参加させていただきました。本年度の学校教育目標を昨年度と同じ  
「出合い 支え合い 学びあう」としました。

- めざす子ども像に
  - ・自ら学び、たくましく育つ子
  - ・生活習慣が身についた子
  - ・なかまを大切に育つ子
  - ・ふるさとを愛する子
- の4項目をあげ、昨年度と違っ

て基本的な生活習慣を大切にしていこうと考えています。

その中には、

- ◎あいさつができる ◎整理整頓ができる ◎ものを大切に扱う ◎そうじがしっかりできる
- が考えられます。学習効果を上げるためにも大切な要素と考えています。

また、昨年度から取り組んでいる東部中校区評価システム構築事業でも、評価アンケートの項目にどの学校も『あいさつ』を取り上げています。このように「あいさつをする」ことが今課題になっていることは生活様式の変化なのでしょう。

家庭でもご協力を願えば幸いです。

## ていすい子どもハウス 保育室公開

ていすい子どもハウス 保護者会代表 濱田 憲

この度、松阪市や掃水小、掃水まちづくり協議会のご協力をいただきました。ていすい子どもハウス（学童）の保育室を広くしていただく事ができました。子供達もハウスで伸び伸びと過ごせるようになり、本当に嬉し

く思います。ありがとうございます。

先日は、みなさまにご多忙の中、お披露目会にもご参加いただきありがとうございました。日頃から、地域のみなさまが温かく見守って下さって、私達保護者も安心して学童を利用することが出来ます。

掃水小の運動会の日、ハウスの公開をさせていただきました。（五月二十三日午後一時～二時まで）広くなったハウスを、一度地域のみなさまにも見ていただきたいと思えます。お時間のある方は是非お越し下さい。

広くなった  
ていすい子どもハウス

